



4月号では、新しく完成したりリーフレットの概要と、学園構想のこれからについてを紹介しました。今号では、“みんなで育てみんなが育つ魅力あるまち”の実現に向けた4つの領域のうち、子どもたちの興味・関心を起点として、教科の授業で学んだことを活かして面白がって探究する学校での活動のイメージを4つ紹介します。

◆ワクワクする！教科学習

子どもたちは国語や数学、美術などのさまざまな教科で学んだことが

「自分の日常や人生に生きるんだ！」という実感を得ることができる。

◆社会とつながる探究学習

子どもたちの興味・関心を深めたり、課題を解決する力を身に付けたりできる学びが体系的に行われていて、教員と地域の人たちが子どもたちを育む環境づくりのため、共に学びの場を創造している。

◆データで効果検証

子どもたちの成長について、主観的・客観的の両面から捉えたデータを活用して、地域と学校が手を取り合い取り組みを改善している。

◆学校はみんなの居場所

地域の人が気軽に集える部屋があ



り、子どもたちについての語り合いや、子どもとの対話が楽しく真剣に行われている。

子どもたちを育むには、学校と地域がともに手を取り合っていくことが大切です。まち全体で子どもたちに「幸せな人生と持続可能な社会の創り手となる力」を育んでいきましょう。参加者を募っています。

問 学校教育課 ☎0577-73-7494



ニラ

春本番になり、あちこちから薬草が伸びていますが、例年ない雪解けの早さと暖かさに、いろんな薬草が前倒しで、そして足早になっている感じがします。

そんな中で、取ってもすぐ生えてくるニラは食材としてもとても重宝する薬草です。

餃子の具だけでなく、刻んでスープの具にしたり、炒め物に入れたり、雑炊に入れたり幅広く使えます。

ニラの香りの元になっている硫化

アリルは胃液の分泌を活発にするので、これからどんどん気温が上がって暑くなるにつれて食欲が落ちていく中でも積極的に使えます。

ニラは健胃整腸、強壯の作用があり、高血圧や動脈硬化、血栓予防が期待できますし、体を温める効果があります。細菌への抵抗力も強めてくれるので薬味のような使い方もできます。また、風呂に入れて外用するとアセモや肌の弱い人に効果があります。これから夏にかけて気温が上がっていき、夏バテや食中毒、汗のかきすぎによる肌荒れなどが心配される時期になっていきますが、ニラは内用しても外用しても効果があり、とてもありがたいですね。

スイセンの葉をニラと間違えて食べて中毒を起こしたというニュースが時々見られます。

確かに細かい葉でまぎらわしいですが、葉っぱをちぎってみればあの独

特のニラやニンニクの香りがするので見分けやすいです。

ニラは栽培しやすいので、畑の片隅やプランターなどに植えておくのも便利です。

いろんな薬草が楽しめる時期になりましたね。薬草を探してたくさん歩き、体に取り入れて健康になりましょう。



村上光太郎「薬草を食べる」より

問 まちづくり観光課 ☎0577-73-7463